

奈良市バリアフリー基本構想改定(案)に関する意見募集の結果

令和7年7月24日から同年8月22日までの間、「奈良市バリアフリー基本構想改定(案)」を公表し、市民等の皆さまからご意見を募集したところ、1件のご意見をいただきました。この度、募集結果及びご意見に対する本市の考え方について、下記のとおり公表します。ご意見をいただき、ありがとうございました。

1. 意見結果の概要

(1) 項目別意見数

意見の提出者数 【1人】

- 提出方法別内訳 電子メール 1人
- 提出者属性別内訳
市内に住所を有する人 1人

意見の提出件数 【1件】

- 意見の対象別内訳
その他(基本構想の内容以外) 1件

(2) 対応の方向性

- ① 計画案に反映します 【0件】
- ② 今後の取り組みの参考とします 【0件】
- ③ ご意見として伺います 【1件】
- ④ その他(質問・計画と同趣旨 等) 【0件】

2. 意見の概要及び市の考え方

いただいた意見の概要及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

意見	市の考え方	対応の方向性
<p>杖を共にするひとが増えました。私も今は階段は上りも下りも全然ダメになりました。</p> <p>さて元気なうちはあまり気づかないことですが、あまりにも近鉄のエスカレーターの少ないことは以前から気になっていました。</p> <p>先ず学園前駅の南北に通じる地下道、下りがありません。ホームでも北改札から入って難波方面行きホームへ行くための下りがありません。</p> <p>次に近鉄奈良駅です。到着した時、改札から東向南の商店街方面への上りはありますが下りはありません。東向北商店街(奈良女方面)へは上りも下りもありません。又改札からホームへ行くための下りがありません。</p> <p>以前から気になっていましたので、ありがとうございました。</p>	<p>高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)が平成18年12月に施行され、公共交通事業者が実施するバリアフリー推進について国から基準が示されました。</p> <p>鉄道事業者は、原則としてその基準に則り旅客施設のバリアフリーを進められているところです。</p> <p>国の基準ではエレベーターの設置が求められており、行政も協力し、エレベーターの設置を進めております。また、ご意見をいただきましたエスカレーターにつきましては、奈良市移動等円滑化促進協議会においても設置の必要性が話題となりましたが、駅舎の構造やスペースなどの課題があり、奈良市内の全ての駅に上・下エスカレーターが設置されていないのが現状です。</p> <p>市としても、さらなる移動等円滑化に向けてどのように取り組んでいけばよいか今後も検討してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。</p>	<p>③</p>

2. 意見の概要及び市の考え方

なお、意見募集要項に則さない形式ですが、下記のとおり書面にてご意見をいただきました。今後の施策を検討するうえで参考とさせていただきます。

意見

奈良市バリアフリー基本構想については、交通弱者や児童、外国人等への配慮が盛りだくさんの構想(案)となっているが、個々多数の意見をヒヤリングすればきりがなく、その対応に各関係団体も参画して構想を立案されたと認識している。奈良市の行政運営に対し100%対応しているとは言わないが、奈良市の道路管理行政はかなり対応しているほうだと思う。他都市との比較ではあるが現在富山市に在住し勤務をしているが40万都市でコンパクトシティに成功している富山市は区画整理や連立事業による駅前街並みづくりは進んでいるが市道の歩道部のタイル剥がれ欠損は多数、車道舗装に至っては横断歩道部であるにかかわらず舗装の痛みは数知れず雪の融雪施設や路面電車軌道も影響していると思われるが駅前主要幹線でも路面状況は良いとは言えないというのが実情である。このことから、40万都市の富山市でも維持管理業務が追い付いていない実情は顕著であり、全国的にもそうであるが職員不足、物価高騰、受注者の労働力不足等で管理業務が追い付いていないと思われる。予算についてはわからないが、駅前を離れると、生活道路の路面状況の劣化、街灯の少なさ等奈良市にいてる時より目につくことが多い。奈良市の道路管理については、良くされている方だと感じる場所である。この観点から、バリアフリーを推進していくには、基本構想に基づく実施要領の取り決め優先度や重要地域でもある程度我慢してもらうなど協議・調整を行っていく必要がある。基本構想に記載されている案件について激しい要求がなされる可能性もあり、その場合は実施要領による事業推進と毅然とした対応ができるようにしないと、圧力により道路管理者が通常業務よりバリアフリーを優先するなどがあっては市民生活の安全性も損なわれる。そのため、バリアフリーを進めていく覚悟を決めたのであれば、その業務に特化した体制を構築しバリアフリーを推進する覚悟を示すべきであり各管理者や事業者に丸投げするのではなく主となり核となる体制から各管理者・事業者の協力により進めていくのが必要ではないでしょうか。市長も5期目になりみんなが市長と言っている中、このままなしくずし進めていくと通常の業務とバリアフリー対策がどちらも中途半端になる危惧が想定される。市長の好きなAIで事こなせるならよいが決してできることではない。バリアフリーも大切であると思うが市民生活の対応についても道路管理者は計画を持って進めていると思うのでどちらも片手間で進めないような体制と覚悟を示して安心な行政経営を望む。